

アドセンス報酬の仕組み

今回は、YouTubeのアドセンス報酬の仕組みについて解説していきます。

このビデオを見ることであなたは、アドセンス報酬が、いつ、どこに、誰から、どのようにして入金されるかがわかるようになります。

それでは、張り切って参りましょう！

前回のビデオでもお伝えしましたが、アドセンス報酬を得るためには、Googleのアドセンスアカウントを開設する必要があります。

アドセンスアカウントを開設すると、あなたの氏名、住所、電話番号などの個人情報を入力することになりますが、ここで、何点か注意点があります。

まず一つ目は、「アドセンスアカウントの名義は必ず、アドセンス報酬が振り込まれる銀行口座と同じ名義にする」ということです。

この名義が同じでないと、アドセンス報酬は振り込まれません。

なので、必ずアドセンスアカウントの名義と、銀行口座の名義は、

同じ名義にしてください。

次に2つ目の注意点ですが、「住所は必ず、郵便物が届く住所を登録する」ということです。

あなたのチャンネルでアドセンス報酬が発生すると、本人確認のために、Googleからあなたの住所宛に郵便物が送られて来ます。

この郵便物が届かないと、アドセンス報酬は振り込まれません。

なので、アドセンアカウントには必ず、あなたが現在お住まいの住所を登録してください。

以上が、アドセンアカウントに関する注意事項になります。

次に、アドセンス報酬が発生して、あなたの銀行口座へ振り込まれるまでの流れについて解説します。

まず、アドセンス報酬が発生させるには、

1つのチャンネル内で、

チャンネル登録者数が1,000人以上、

総再生時間が1年間で4,000時間以上、

という条件になっています。

この条件をクリアすることで、アドセンス報酬が発生させることが

できます。

アドセンス報酬が発生すると、アドセンスアカウントのトップページに、現時点の金額が表示されるようになります。

そして、その金額が1,000円を超えると、本人確認のために、Googleからあなたの登録住所宛に、認証番号が書いてある郵便物が届きます。

その郵便物に書いてある認証番号をアドセンスアカウントに登録すると、本人確認が完了します。

本人確認が完了すると、次のステップとして銀行口座の確認になります。

銀行口座の確認は、登録してあるあなたの銀行口座へ、GoogleからGoogle名義で数十円のお金が入金されます。

金額はランダムに変わります。

そして、その金額をあなたが確認して、アドセンスアカウントに登録すると、銀行口座の確認が完了します。

本人確認と銀行口座の確認が完了すると、あなたの銀行口座へアドセンス報酬が振り込まれるようになります。

ただし、その金額が8,000円を超えないと振り込みはされず、翌月

へと繰り越されます。

以上が、アドセンス報酬が振り込まれるまでの流れになります。

次に、アドセンス報酬の集計の仕方について解説します。

前回のビデオでもお話ししましたが、アドセンスアカウントは、YouTubeアカウントと紐付けることで、報酬を得ることができるようになります。

YouTubeアカウントが複数ある場合、複数のアカウントにアドセンスアカウントを紐付けることで、アドセンス報酬をまとめて得ることができるようになります。

例えば、今月のアドセンス報酬が、

Aチャンネルで10万円、

Bチャンネルで5万円、

Cチャンネルで15万円、

だったとした場合、

A B Cの合計金額が30万円になりますね。

そして、その30万円をアドセンスアカウントが集計して、あなたの銀行口座へ振り込む、という流れになります。

ただし、振り込み金額に関しては、一つ注意点があります。

それは「アドセンス報酬には手数料の20%がかかる」ということです。

例えば、あなたのアドセンス報酬が30万円だったとしたら、そこから手数料として20%の6万円が、YouTubeから差し引かれます。

つまり、30万円から6万円を差し引いた金額24万円が、あなたの銀行口座へ振り込まれる、ということになります。

アドセンス報酬が振り込まれる時期ですが、Googleのルールでは、アドセンス報酬の支払いは「毎月末締め of 翌々月20日払い」となっています。

例えば、10月中に発生したアドセンス報酬は、翌々月の12月20日に、あなたの銀行口座へ振り込まれる、ということになります。

以上が、アドセンス報酬の仕組みについて解説しましたが、いかがだったでしょうか？

アドセンス報酬につきましては、このあとの実践編で詳しく解説していきますが、およその流れは以上ようになります。

ぜひ、覚えておいてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。